

## 令和3年度 第2回長野県長野高等学校学校評議員懇談会（オンライン） 記録

1. 日 時 令和4年 1月 31日（月） 15:00～16:20

2. 会 場 長野県長野高等学校 大会議室

3. 出席者

学校評議員 6名（五十音順）

佐野 忠文氏（上松区区长）、中村 正行氏（信州大学工学部教授）

藤井 純子氏（東口メンタルクリニック臨床心理士）、松澤 雅子氏（長野市PTA連合会副会長）

松本 清氏（長野運送（株）代表取締役）

鷺澤 幸一氏（炭平コーポレーション（株）代表取締役）

学校職員 13名、生徒 3名

4. 学校評議員懇談会

（1）開会（15:00～）

（2）学校長挨拶（15:00～）

- ・「まん延防止等重点措置」により全日制においては分散登校を実施している。

本校では以前より ICT 教育を推進しており、コロナ禍の状況の中、一つの到達点に至ったと考えている。

- ・旧第3通学区には多部制単位制高校がなく、住民からの設置に向けての要望も強いので、今後の高校再編では、本校の定時制を含めた各校の定時制を統合する形で多部制単位制高校を設置する方向で検討が進む。

- ・SGH事業を5年間、NGP事業を3年間と計8年間のグローバルな探究活動を続けており、一定の教育効果が現れている。今後はこの意義ある取り組みを継続するとともに、さらにはSSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）の指定についても模索する。

（3）自己紹介（高校職員3名、生徒会役員生徒3名のみ）

（4）学校より（15:05～）

A. 全日制の状況について

① 概況

- ・中学生体験入学(7/29)では、753名の参加者があった。また、授業公開(10/13)ではコロナ禍であったが161名の参観者があった。

- ・9月からのオンライン授業は、生徒アンケートによると好評価であった。職員会ではタブレットを用いてペーパーレス化も進み、ICTの活用が浸透しつつある。

② 進路指導係より

- ・進路指導関連の研究会や大学主催の説明会は、WEBを活用して開催し、多くの職員

が参加した。

- ・3年保護者対象の進路講演会(8/21)は、残念ながら中止とした。
- ・大学の先生による模擬授業は、WEBを利用して実施した。
- ・令和4年度入学生より新学習指導要領が導入される。

共通テストでは、民間英語資格・検定試験の利用、記述問題の導入も見送りとなり、令和7年度からは教科「情報」が出題教科として新設されるなど、大学入試の多様化が進んでいる。今後の指導についても工夫が必要となる。

### ③ 生徒指導係より

- ・今年度になって交通事故が多発している。特に自転車による事故が増加。昨年11月は特に事故が多く、生徒にはDVDを利用して注意喚起した。
- ・ICT機器(タブレット、スマホ)が普及し、その使い方についても指導している。
- ・心の健康相談を倉石 Dr. を招いて7回実施した。保健室の利用については例年並みである。
- ・不評により本年度から上履きを変更した。

### ④ 生徒会係より

- ・コロナ禍により生徒会行事にも影響が出た。応援練習では声を出さない日やクラスを分けて分散的に中庭で実施など対応した。
- ・金鷄祭は、保護者等人数を限定して実施した。
- ・1, 2年生は個々タブレットを所有しているため、生徒会でもペーパーレス化を進めている。
- ・クラブ活動は、全国大会、北信越大会に出場するクラブが複数あり、運動、文化クラブともに好成績を残した。

### ⑤ NGP係より

- ・本年度は、文科省から指定を受けた「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」(本校ではNGPと名称)は最終年となり、課題研究を中心に据えて実施している。
- ・コロナ禍により残念ながら台湾研修旅行は中止とし、代替として立命館アジア太平洋大学(APU)との国際交流を柱とした九州研修旅行を実施した。
- ・米国リーダー研修についてもグローバル人材の育成に積極的な立命館アジア太平洋大学(APU)での研修を代替として活動した。

### ⑥ 3学年より～学年通信「FACE」～

- ・本年度の共通テストは数学等が難化し、全国的に40～50点マイナスであった。落ち込んでいる生徒もいるが、出願に向けて激励しながら粘り強く指導している。

- ・現在は、後期に向けて特編授業で指導中、また面接、小論文指導も継続中である。

⑦ 2 学年より～学年通信「至誠」～

- ・入学後直ちに休校となった学年である。そのお陰でオンラインを活用した指導方法等は充実した。
- ・対面での活動を特に重要視している。勉強、部活とメリハリのついた学校生活を送ることができるように指導している。
- ・九州への研修旅行は実施できて本当に良かった。生徒にとっても貴重な体験であり、とても好評価であった。

⑧ 1 学年より～学年通信「GRIT」～

- ・クラブ加入率は 96%と高く、非常に活気のある学年である。
- ・4 月よりタブレットを利用して集会、講演会等をオンラインで実施している。
- ・様々な分野で能力の高い生徒が多く、現在は「高校生模擬裁判選手権」への参加を呼びかけている。

B. 定時制の状況について

- ・本年度の在籍生徒数は 29 名と少ない。休学している生徒は 2 名である。現在、体調不良の生徒が多くなってきている。
- ・卒業生徒数は昨年度 12 名、本年度は 4 年生が 7 名、3 年生が 4 名の全体で 11 名を予定している。
- ・保護者、外部機関（SC、SSW、児童相談所、長野市役所等）と連携して、生徒の状況改善に向けて、全職員が情報を共有しながら指導している。
- ・生徒はタブレットの持ち帰りをしていないが、職員は ICT を活用した授業を展開している。

C. 今年度の学校評価について

- ・全日制、定時制について年度末最終評価をお願いしたい。

D. 学校生活について：(生徒より)

- ・女性用のトイレを増設してほしい。
- ・「長高生たる者、勉強に部活に両方頑張る」という言葉通り、充実した高校生活を送っている。
- ・金鵒祭の実施時期については、準備を含めて、文化祭、定期考査とどちらかに一方に集中できるように配慮してほしい。

(5) 意見交換

- 評議員 ・心の健康相談について、NGP 関係とはどういう意味か。

学校 ⇒・メンタルに関する相談ではなく NGP 関係でインタビューをした。

- 評議員 ・ 全校で自転車通学の生徒は何人くらいいるのか。
- 学校 ⇒ ・ 許可されている生徒は全体で約 280 人。本校の周辺には、坂道があり、下りはスピードが出るので危険である。
- 評議員 ・ 地域の活動でグラウンドをはじめ施設を開放していただき、また学校周辺の清掃活動等感謝申し上げます。地域住民としては、生徒の自転車事故がとても心配である。気をつけて登下校してほしい。
- 評議員 ・ コロナ禍においても、オンライン等により生徒の学びを止めないことがすばらしい。先生方の熱意、努力に敬意を表する。
- オンライン授業に対して、生徒はどのように感じているのか。何か要望や不満はあるのか。
- 生徒 ⇒ ・ 以前の休校の際に行われた授業配信では、配信を意識した画像なので黒板の字が見やすかったが、分散登校でのオンライン授業では、黒板の字が見にくく、集中力が続かない。
- ・ ずっと画面を見ているので、とても目が疲れ、集中力が続かない。
- 評議員 ・ 学年通信等の丁寧な資料により学校の様子がよくわかった。
- ・ コロナ禍において、オンライン授業など生徒の適応力に感心した。
  - ・ 今後、定時制の再編がどのようになるのか。長野高校定時制の良さが失われない再編を強く望んでいる。
- 評議員 ・ 生徒会役員の生徒の皆さんと話ができてとても良かった。
- ・ コロナ禍であるが、生徒の皆さんには健康に気をつけて、是非、充実した高校生活を送っていただきたい。
- 評議員 ・ 自転車事故が増加しているとのこと。事故を未然に防ぐ安全教育が重要だと思う。
- ・ コロナ禍の影響を心配していたが、説明を聞いて安心した。
- 評議員 ・ 2年以上続くコロナ禍、若い生徒諸君には気の毒である。その状況の中、部活動の参加率が 90%を超え、活動も活発である様子と伺った。
- また、研修旅行も行われたとのこと、本当に良かった。
- ・ 塾や予備校に通っている生徒はどのくらいいるのか。塾や予備校もオンラインで授業をやっているのか。やっていないとすれば本末転倒である。
- 学校 ⇒ ・ およそ 1 年生は 4 割、2 年生は 5 割、3 年生は 6 ～ 7 割である。
- 塾や予備校の授業形態は不明である。

(6) 校長より御礼の言葉

(7) 閉会 (16:20)